

# ボーリング柱状図

調査名 \_\_\_\_\_

ボーリングNO.																
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事業 \_\_\_\_\_

シートNO.

ボーリング名	A1 (測点No.56+18.0L9.0)		調査位置			北緯	36° 22' 41.0000"								
発注機関	栃木県佐野土木事務所				調査期間	2009-08-27 ~ 2009-09-03		東経	139° 34' 06.0000"						
調査業者名				主任技師			現場代理人			コーン定者			ボーリング責任者		
孔口標高	72.87 m	角			方			地盤勾配			使用機種	ハンマー ポンプ			
総掘進長	27.40 m	度						試錐機	エンジン						

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日		
											深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量	N	値						
69.27	3.60	3.60		盛土(砂礫) (BS)	暗褐色		中くらい	堤体盛土 2-50mm程度の亜円,角礫を主体とする 0.6m以深, 100-150mm程度の玉石が点在する 2.8m付近までは乾いた状態で,礫間は細砂でなる 2.8m以深はやや細粒分の混入が多くなる		08/27	1.15	10	10	9	29/30	29					08/27
				砂礫 (GS)	灰褐色		中くらい	礫は 2-75mm程度の亜円,角礫からなり 10-30mm程度の礫が多い 100mm前後の玉石が点在する 礫間は中,粗砂および若干の粘土で充填される 礫種は硬質な古期岩(チャート,砂岩,頁岩等)主体である 4.15m以深は含水多く,孔壁の崩壊が著しい	08/28	4.15	11	10	9	30/30	30						08/28
				粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐色		中くらい	礫は 2-50mm程度の亜円礫,角礫が主体である 礫間は粗砂および粘土で充填されている 100-150mm程度の玉石が2mに1-2個程度点状する 8.70-9.10m間は礫径 10mm程度で粘土の混入が非常に多い 9.80-12.30m間は,粘土および砂の混入が多い 含水多く,掘削水の逸水や孔壁の崩壊が若干みられる 15.35m以深,粘土の混入が多い		11.45	7	8	9	24/30	24						08/28
				砂混じり粘土 (CH-S)	褐色		中くらい	粘性大きい,含水多く軟らかい 全体に砂混じりで, 5-10mm程度の亜円礫が点在する		15.15	17	30	3	50/21	>50					08/29	
67.07	2.20	5.80								8.15	12	9	7	28/30	28					08/29	
67.37	9.70	15.50								8.45	11	10	8	29/30	29					08/29	
										9.15	11	11	10	32/30	32					08/29	
56.77	0.60	16.10								9.40	21	20	5	50/25	>50					08/29	
										10.15	14	10	10	34/30	34					08/29	
										10.45	9	7	6	22/30	22					08/29	
										11.15	7	9	12	28/30	28					08/29	
										12.15	22	18	7	50/27	>50					08/29	
										12.45	11	14	18	43/30	43					08/29	
										13.15	10	10	7	27/30	27					08/29	
										13.42	11	10	10	31/30	31					08/29	

